



## 丹後地域 第 30 号

# リハビリ通信

～うさぎのプランコ～

編集/発行  
丹後地域リハビリテーション支援センター  
(公益財団法人 丹後中央病院内)  
〒627-8555 京丹後市峰山町杉谷 158-1

TEL 0772-62-8301 FAX 0772-62-8302  
e-mail [tango-rehabili-shien@tangohp.com](mailto:tango-rehabili-shien@tangohp.com)  
<http://www.tangohp.com/tangoshien.html>

ホームページより PDF 形式でご覧いただくことができます

### 看護職介護職ステップアップ研修 開催報告 (第 1 回～第 3 回)

#### 第 1 回「移乗」

平成 30 年 6 月 15 日 (金) 開催

講師：岡野 光朗 氏

(京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ)

83 名の方にご参加いただきました。

立ち上がりの三原則や声かけの重要性、移乗のポイントを学び、実技の中で実感することができました。



#### 研修会直後アンケートより

【明日から実践しようと思ったことは何ですか？】

- ・立ち上がる前に浅座りし、体と足の向き・位置を確認する
- ・自立を促し、利用者さんがやりやすい声かけを行う
- ・尻もちすわりにならないように体幹の前傾をしっかり行ってもらう
- ・言葉を選び、優しい笑顔で行う

#### ワンポイント

- ・立ち上がりの三要素  
足を引く、体をしっかりかがむ、座面の高さ
- ・浅く座った方が立ち上がりやすい
- ・その人立ち上がりやすい高さに調整すると立ち上がりやすくなる

## 第 2 回「リハビリテーションに 役立つ認知症の基礎知識」

平成 30 年 7 月 20 日（金）開催

講師： 成本 迅 氏

（京都府立医科大学）

97 名の方にご参加いただきました。



原因疾患ごとの特長と対応方法や BPSD（周辺症状）を悪化させてしまう対応や話し方の注意点からリハビリの重要性、リハビリの妨げになる精神症状について教えて頂きました。

### 研修会直後アンケートより

【明日から実践しようと思ったことは何ですか？】

- ・ 運動やレクを取り入れて予防へ繋げる
- ・ 話をしっかり聞いて、一緒に出来る事を見つけて取り入れていきたい
- ・ 認知症の進行状況に合わせたリハビリの提供、接し方をしていきたい
- ・ 問題行動をチャレンジング行動と視点を変えて利用者さんをみていきたい
- ・ 利用者さんに手伝ってもらう事があるが、何に対しても”好み”や”やっていた事”あまり聞いたことがないので、話を聞き少しでも若い時にやっていたこと取り組めるようにしたいと思う

### ワンポイント

話しの仕方です気を付けること

- ・ 早口の言葉を聞きとる → ゆっくり大きな声で目を合わせて
- ・ 手順がたくさんある課題を行う → 1 ステップずつ分けて
- ・ いくつもの選択肢から選ぶ → 二択にする

## 第3回「歩行」

平成30年8月17日（金）開催

講師：梅田 匡純 氏

（京丹後市立弥栄病院）

55名の方にご参加いただきました。



歩行の各論、歩行補助具について学ぶことができました。それぞれの歩行補助具の特性や何を目的に選定された等新しい視点を持つことができました。

### 研修会直後アンケートより

【明日から実践しようと思ったことは何ですか？】

- ・利用者の歩行の仕方によって、補助具や使い方が変わるので動作をみていきたい
- ・患者様の最終目標に適した福祉用具の選択、使用方法を考える
- ・歩くことの大切さ何気ないことでも頼んで歩くことを増やそうと思いました
- ・歩行している方のやり方をみて適しているかを確認してみる
- ・杖を利用されている利用者さんの歩行について、歩きやすいように介助してあげたい
- ・歩行補助具を使用されている利用者さんで、しっかりと目的に合っているか見直してみようと思った

### ワンポイント

- ・歩行補助具は実用性重視、歩容・速度向上等目的によって異なる
- ・利用者が受動的に行うのではなく能動的に行うのが大切
- ・加齢・不動により骨は弱くなる
- ・10mを10秒で歩けないと屋外歩行は適応しにくい
- ・平均寿命と健康寿命は延びているが、その差は縮まっていない

## 第 1 回事例検討会 「褥瘡に対するポジショニング」 開催報告

日 時：平成 30 年 9 月 9 日（日）  
時 間：9 時 30 分～12 時 30 分  
会 場：京丹後市立久美浜病院 デイケアルーム  
講 師：北出貴則氏（理学療法士）  
誠佑記念病院  
診療技術部リハビリテーション室 室長  
参加者：29 名



褥瘡発生要因である外力を含めた環境的要因を  
アセスメントすることの重要性と、褥瘡予防及び  
姿勢・活動支援のためのポジショニングについてお話頂きました。  
実技ではマットレスの違いやポジショニングを体験することができました。

### 研修会直後アンケートより

【明日から実践しようと思ったことは何ですか？】

- ・ 始めの位置の確認と圧分散
- ・ マットレスやクッションの見直し
- ・ ポジショニング後の圧確認
- ・ 全身をみる
- ・ 圧抜き
- ・ マットレス、臥位の位置確認

### ワンポイント

- ・ 体圧を圧分散させること
- ・ 摩擦やズレを軽減する用具を活用すること
- ・ 姿勢保持用具を活用すること
- ・ 体位変換を行うこと
- ・ 体圧分散用具を活用すること

## 第 2 回事例検討会 「丹後各市町における地域包括ケアを リハビリテーションの視点から考える」 開催案内

日 時：平成 30 年 10 月 29 日（月）  
時 間：午後 2 時 00 分～4 時 30 分（受付：午後 1 時 30 分～）  
会 場：大宮ふれあい工房  
内 容：1) 実践報告  
「若年性認知症に神経変性疾患を伴った事例を地域の多職種で支援する（仮）」  
2) グループワーク  
発表事例を各市町に置き換えて、支援体制の課題、資源の活用、専門職の活用を考える  
締め切り：平成 30 年 10 月 15 日（月）必着